

禮田 桜妃 のライフプラン

将来なにになりたいか？ 子どもの整形外科医

その理由：日本にいる外国の子どもたちが安心して治りようを受けられる病院を作りたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	10(小4)	水泳で体をきたえる。学校の勉強をおぼえる。	スイミングスクール代、いっきょう代
2023年	11(小5)	バレーボールをおぼえる。外人と英語ではなせよう。	
2024年	12(小6)	世界遺産検定4級をとる。	世界遺産検定代
2025年	13(中1)	中学入学。外人と中国語で話せるようになる。	中学いっきょう代
2026年	14(中2)	たんきりゅう学(IAI、英語)のようりてき先をきたえる。	りゅう学代
2027年	15(中3)	世界遺産検定2級をとる。体のしくみを覚える。	世界遺産検定代
2028年	16(高1)	高校入学	高校いっきょう代
2029年	17(高2)	たんきりゅう学(中国、中国語)の生活をする(インターンシップ)。	りゅう学代、インターンシップ代
2030年	18(高3)	世界遺産検定2級をとる。バレーボールを100におぼえる。	世界遺産検定代
2031年	19(大1)	東京大学の医学部に入学	大学いっきょう代、本代
2032年	20(大2)	医者のおもてなしをおぼえる。	医者のおもてなし代
2033年	21(大3)	世界遺産検定1級をとる。	世界遺産検定代
2034年	22(大4)	医者のおもてなしの本をよんで、整形外科のおもてなしをおぼえる。	おもてなし本代
2035年	23(大5)	ほねのなをしるおぼえる。キーンを作れるようになる。	しるおぼえる代
2036年	24(大6)	医学部を卒業。こしかけんにかかす。	
2037年	25	けんしゅう医として、実さいにしんさつできるようになる。	
2042年	30	新しい病院をたてて安心していける病院を作る。	病院代

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう！

私のゆめは世界中の子ども達のために

筑波大学附属小学校 四年 禮田 桜妃

私のゆめは、子どもの整形外科医です。理由は、日本にいる外国の子どもが安心して治りようを受けられる病院を作りたいからです。

きっかけは、私がフランスに住んでいた年少の時に、骨折をして子どもせん門病院に入院した経験からです。外国での入院はとても不安でしたが、フランス語と日本語を話せる女医さんと出会い、私の人生は変わりました。将来の骨の発達に関わる難しい骨折を完ぺきに治してくれただけでなく、私の気持ちが明るくなるように、日本語でやさしく話かけてくれたことが、今でも心に残っています。異国の地でも、笑顔で安心して治りようを受けられる医師や病院があること、これが子ども達の成長に必要なと思うようになりました。

私は治りようのぎじゅつがあり、外国の子どもが安心して笑顔で通える病院作りを目指します。そのために、医師めんと

きよを取ることに加え、三つの目標があります。一つ目は、外国の子どもと話せる語学力を身につけること。英語と中国語をマスターして、世界の大半の人と話せるようになることが目標です。二つ目は、私が生活をしたことのある日本・フランス以外の国のことを知ること、外国のれきしと文化を学んで世界遺産検定一級を取ること、りゅう学や海外旅行へ行き、外国のことを理かいていきたいです。三つ目は、子ども達が泣いた時に、いっしゅんで笑顔になれるわぎを身につけること。私は小さいころから工作が好きなので、手先が器用なことをいかして、折り紙のわぎをふやし、バレーボールのぎじゅつを覚えることが目標です。

医師になるには、お金と時間が必要ですが、私のゆめは医師になるだけでは足りません。三つの目標の具体的な計画もたて、家族とも共有しながら、一つ一つの小さな達成をつみ重ねていきたいと思っています。全ては世界中の子ども達を笑顔で元気な大人にするために。